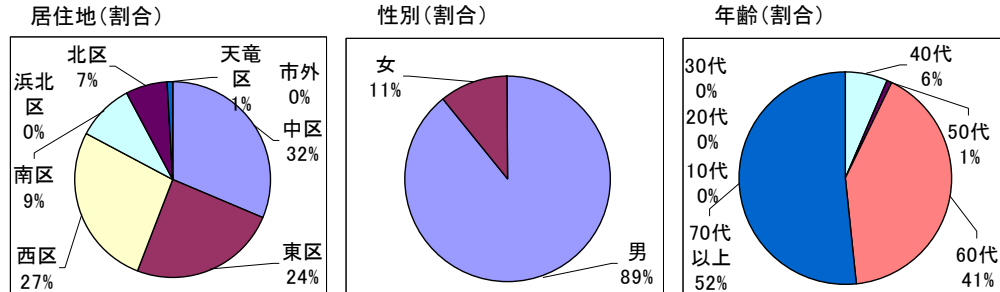


公園愛護会の集いで実施した意見記入用紙の集計結果

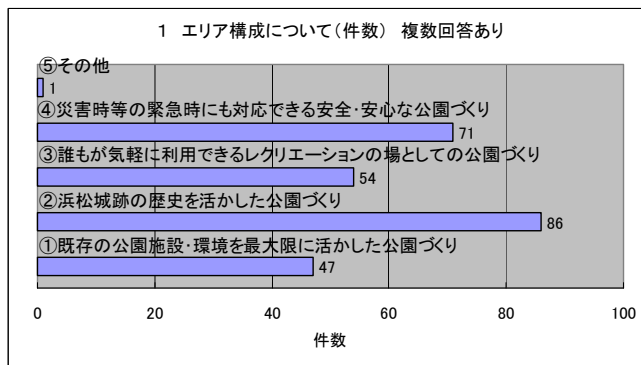
回答者の属性 回答者数 141名(公園愛護会の集い)



「浜松城公園の長期的整備に向けた考え方」についての設問

設問 1 エリア構成(ゾーニング)について

長期的整備に向けた考え方では、対象地域の地形、歴史的な空間の役割、現状の土地利用、今後期待される役割等を考慮し4つのゾーンに区分しました。これからの浜松城公園を考える上で最も必要と思われるものを選んで下さい。(複数回答可)

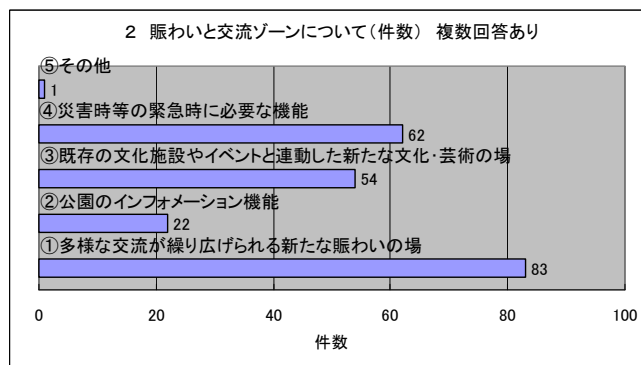


設問の自由意見(抜粋)

- ・水辺機能を備える。浜松市の中心は緑と水辺がなく、潤いのない市となっている。
- ・樹種として公園範囲防火できる広葉常緑樹をめぐらす。
- ・駐車場を分散し、交通弱者も利用しやすくする。
- ・お金をかけず、永続性(理念、目標)を持った内容に。

設問 2 賑わいと交流ゾーンについて

賑わいと交流ゾーンは、公園のエントランス機能と来園者の賑わいと交流の場を形成するゾーンとして考えています。賑わいと交流ゾーンに最も必要と思われるものを選んで下さい。(複数回答可)

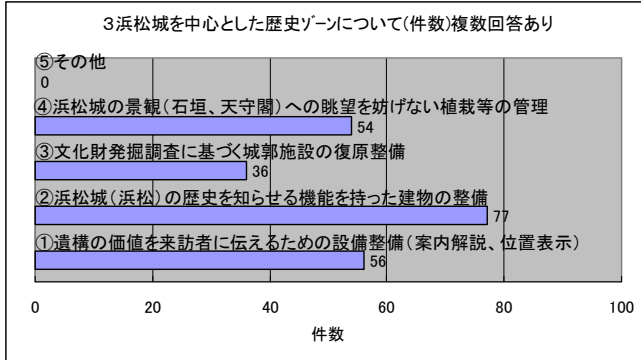


設問の自由意見(抜粋)

- ・芸術文化の発信基地としての機能を持たせる駐車場も設置必要。
- ・建築物は最小限に。
- ・イベントの定着が大切。

設問 3 浜松城を中心とした歴史ゾーンについて

長期的整備に向けた考え方では、浜松城の史跡としての価値をPRし、次世代へ継承し、訪れる人々がその価値を学び理解できるゾーンとして考えています。浜松城を中心とした歴史ゾーンに最も必要と思われるものを選んで下さい。(複数回答可)

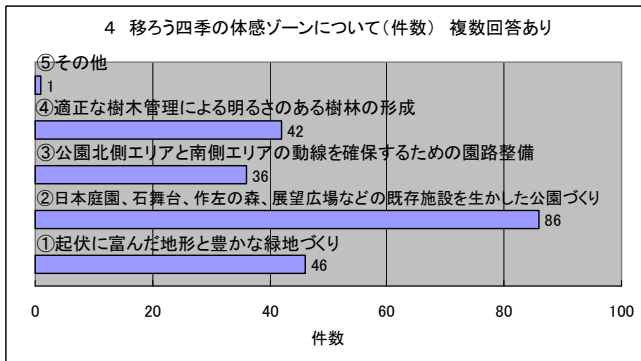


設問の自由意見(抜粋)

- ・家康居城として、静岡、岡崎を参考にすべし。
- ・大金をかけて城を再整備復原する意味はない。

設問 4 移ろう四季の体感ゾーンについて

長期的整備に向けた考え方では、起伏に富んだ地形と豊かな植生を活かした、うるおいの場としての快適なみどり空間を形成するゾーンとして考えています。移ろう四季の体感ゾーンに最も必要と思われるものを選んで下さい。(複数回答可)

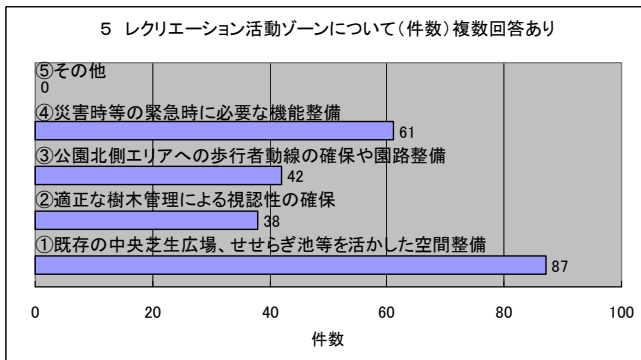


設問の自由意見(抜粋)

- ・例えば秋の紅葉。春の桜などが必要。

設問 5 レクリエーション活動ゾーンについて

長期的整備に向けた考え方では、開放的な空間を活かした、誰もが気軽に利用でき、レクリエーション活動の拠点として展開できるゾーンとして考えています。レクリエーション活動ゾーンに最も必要と思われるものを選んで下さい。(複数回答可)

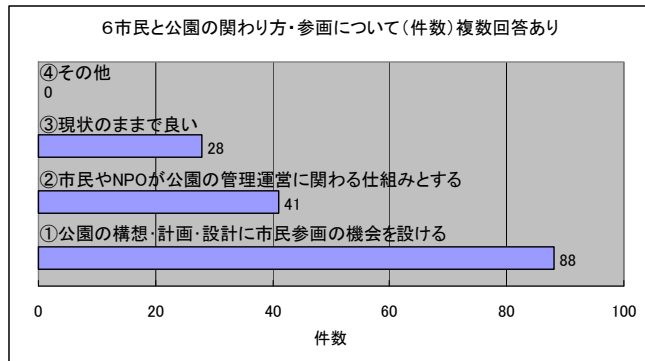


設問の自由意見(抜粋)

- ・自由使用が出来る広場を。(樹木と芝生が混在した空間)

設問 6 市民と公園の関わり方・参画について

長期的整備に向けた考え方では、様々な市民とのかかわりの中で着実に地域に根付く公園の形成を考えています。そのために必要と思われるものを選んで下さい。(複数回答可)



設問の自由意見(抜粋)

- ・駐車場を広くしたり歴史を学びながら散策できる公園とする。
- ・市の主人公は市民である。

設問 7 浜松城公園に対する具体的な要望について(抜粋)

- ・駐車場の整備。近隣地域との渋滞の防止。
- ・足元が歩きにくい。障害者でも最低、城の下まで見学が出来るようにしていただきたい。車イス等でも安心して行けたらと思います。
- ・ジョギングコース、ウォーキングコースの設置(外周などに)。
- ・浜松駅中心部から浜松城公園までつながっていけるような動線ができる様になれば、中心市街地の活性化にもつながると思います。(散歩道のような動線ができればいい)
- ・皆が集まりやすい公園(駐車場も含めて)を望みます。
- ・他市町から訪れたいと思われる公園にと思う。県外、個性のある公園。
- ・浜松城が出世城と呼ばれる歴史的な事象を視覚的にPRするようなものはどうでしょうか。
- ・公園を今以上に整備する必要があるのか。整備する目的が解らない。整備ならこうしたいという前に何のために整備するのか考えるべき。整備することを前提とした設問なので、答えにくい。
- ・市民が集い、県外、県内の外来者が気軽に寄れる公園にしてもらいたい。入り口も東西南北どこからでも入園できること。犯罪防止のため、方策も考えること。
- ・初めての人でも公園内に分かりやすく入れる案内。
- ・市中心の公園として、浜松の産業(楽器、バイク、繊維等)を紹介し、市外のお客を案内しても市民が自慢できるものにした。
- ・市民協働のまちづくりで一部の団体、人の意見に偏らない。